

# 令和3年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園  
聖ヶ岡幼稚園

当園ではこの度、令和3年度の学校評価として、教職員自己評価及び、関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、評価結果について話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。

この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

<目指す子ども達の姿>

自主性を持って様々な活動に取り組み、感性豊かに感じ、考え、行動することを楽しむ。

目指す子ども達の姿のために、日常の保育活動やカリキュラムの編成において、次の2点を常に意識して取り組みます。

- ①元気にのびのびと体を動かすことを楽しみ、素直で明るい心を育てること
- ②豊かな感性で気付く面白さ・考える楽しさ・行動できる充実感を繰り返し体験し学ぶことの意欲を育てること

子ども達が、安定した人間関係の中で生活や遊びを通して社会のルールや優しさと思いやりを身につけていけることを意識し、計画を立てて日常の保育に取り組みます。

## II. 今年度の重点目標

- 教育課程・指導計画の充実及び周知
- 公開保育研修の実施・充実
- 教職員の資質向上
- 全体会議の活性化
- 安全管理体制の強化

## III. 取組み状況と今後の課題

自己評価項目		取組み状況	
1	教育課程・指導計画の充実及び周知	B	活動の意図や本質について意識した指導を行うことで、ただカリキュラム通りに行うのではなく、子どもたちの状況に合わせた活動を行うことができている。様々なカリキュラムの中で、1つ1つについてより良い教材はないか、この教材の狙いは何かを保育者間で話し合うことでより良い活動へと繋がられている。今までしているから行うのではなく、子どもたちの特徴を踏まえた活動へと臨機応変に変えることができている。
2	公開保育の継続実施	A	今まで担当したことがない他学年の保育を見学したことで、学年の子どもに合った言葉や指示や進め方について学ぶことができた。自分の保育を、先輩から見てもらったことでたくさんのアドバイスや意見を貰え、次につながる目標作成の参考にすることができた。他のクラスを見学することで異なる指導法や考え方を学ぶことができ、自分の活動の良い点や改善点に気づくことができた。

# 令和3年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園  
聖ヶ岡幼稚園

自己評価項目		取り組み状況
3	教職員の資質向上	<p>教職員が視野を広げ知識を深めようとする姿勢を持ち、子ども達の興味や関心を引き出す工夫を行っていく。</p> <p>A</p> <p>保育をただするだけでなく、子どもたちが興味・関心を持ったことを取り入れた活動を行うことができている。工作展の作品づくりにおいても子どもたちの考えを引き出し、それを取り入れることを最優先とすることが出来た。但し子どもたちのまだ知らない方法などにも興味を持たせて体験させていく部分ではバランスを取るのが難しかった。専門講師のいない絵画製作において保育者が研究し、様々な技法の体験をさせることが出来たのは良かった。</p>
4	全体会議の活性化	<p>自らの意見に自信を持つとともに積極性を養い、他の教職員の考えも尊重して耳を傾けていく。</p> <p>B</p> <p>会議での発言は押し付けにならないように気をつけ、自分の考えを発言できている。学年で意見を出し合う場で若手保育者の意見が積極的に出ている。また全保育者が相手の意見を尊重しながら話し合うことができている。意見ができていない人に意見を聞くことで一人一人が話せる環境作りができている。</p>
5	安全管理体制の強化	<p>防災頭巾の取り扱いを周知徹底させるとともに、教室内外の危険個所の確認を定期的に行う。</p> <p>A</p> <p>避難訓練について全体会議で話し合い、意見を出し合い、まとめることで新しい避難マニュアルを作成することができた。防災頭巾の取り扱いや地震・火災などの状況に応じた訓練を定期的に行うことができた。避難訓練を通して子どもや保育者同士で安全について話し合う機会が生まれ、様々な事態を想定し考えることができた。</p>

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## IV. 次年度の取り組むべき課題

1	教育課程・指導計画の充実及び周知	今後の子どもの成長を予想をし、上の学年になった時にどういう姿になって欲しいかを考え保育内容を工夫していきたい。園のこれまでのやり方の枠に捉われず他の保育にも目を向け、取り入れ、挑戦していきたい。子どもたちに「こうなってほしい」という思いを忘れず保育を行っていきたい。
2	公開保育の実施・充実	クラスを見るだけでは気づけない保育者の思いや意見についても知りたいので公開保育の後に日々の保育について話し合う機会を設けてほしい。公開保育で学んだことを自分の学年に照らし合わせ活かしていきたい。
3	教職員の資質向上	自分のクラスで挑戦したことを成功も失敗も共有することで保育者の挑戦心を高め、一人一人の知識や経験を深めていきたい。園の方針で変えずにこだわる点と変えて発展させていく点の区別ができずに考えが固くなってしまっているため状況に応じて臨機応変な対応ができるようにしていきたい。
4	全体会議の活性化	自分の意見に自信がなくても発言できる環境を作るため、否定的な言葉より肯定的な言葉を増やしていきたい。他人の意見についてどのような言葉遣いで伝えれば嫌な思いをさせないか学びたい。相手の思いを理解し互いの気持ちを尊重していきたい。
5	安全管理体制の強化	不審者の対応について見直し・再確認をしていきたい。安全に避難できるよう整理整頓を行い、避難経路を常に確保できるようにしたい。園内外の危険個所について全職員で確認・共有していきたい。違うパターンでの避難訓練を行い、臨機応変に対応できるようにしていきたい。

## V. 学校関係者の評価

## 令和3年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園  
聖ヶ岡幼稚園

自己評価につきましては、結果や改善策が具体的に説明されていると思います。先生方は愛情をもって子どもたちに接して下さっているのを、常日頃から拝見し、各行事の完成度にも毎度感動しています。それもすべて先生方がより良い保育を探求し努力されているからだと思います。教育目標である豊かな感性を磨く工夫が、日々の活動を通してされており子どもから今日の出来事を聞くたびにそれを感じ取ることができます。入園することを心からおすすめできる幼稚園です。これからも今の素晴らしい雰囲気・環境のままで未来永劫続いていってくださることをせつに願っています。

<保護者>

コロナ禍で活動が制限される中においても、安全に配慮しつつ、これまで通りに子どもの成長意欲を引き出せるよう、臨機応変に保育していただいています。どの先生も積極的に子どもに関わってくださり、園全体で目標や知見の共有がされていることを感じられます。今後は、現在いらっしゃる先生方が長く働けるような体制にし、聖ヶ岡幼稚園らしい保育方針が引き継がれてほしいと思います。

<保護者>

園としての教育目標と実際の取り組み状況については、真摯に取り組まれ評価できます。こどもたちの「素敵な瞳」を育み、元気でのびのびした自然な姿を育ててほしいものです。家庭第一ではありますが、園としても一助になれるよう、豊かな感性、楽しみ、いたわり、助け合い等を感じて頂ければと思います。子どもたちは、遊びや楽しみから「喜び」を共有できるよう、より一層期待しております。また、専門家の講師の方々を迎え、体操、英語、鼓隊、歌唱指導及び課外体操指導等広く取り組まれ、幅広い活動を感じます。

<評議員>

以上